

後志総合振興局林務課、同森林室、森林管理署による打合せを踏まえた地域の課題、現状

- 1 列状間伐は、民有林でも実施されており抵抗感は少ない。
- 2 高性能林業機械の導入は、徐々にではあるが進んでいる。
- 3 搬出間伐を始めたのが最近、高性能林業機械の効率的な活用、使用に慣れていない。
- 4 コスト意識は高いとは言えない。

地域の民有林の事業体では

- ・経験値で生産性を把握していたため、作業に無駄が多い
- ・数値化による目に見える工程管理が必要
- ・より効率的で低コストな作業のために、作業システムの改善が必要

## 工程管理システムを活用しコスト縮減意識の普及

### 工程管理システムを普及するため、説明会を実施

- ・林業事業体や森林組合、市町村などの民有林関係者に対し、システムの取扱説明会を実施し、普及を図った。



①渡島地区 (H28.7.20)  
41名出席



②胆振地区 (H29.1.24)  
37名出席



③檜山地区 (H29.3.9)  
20名出席

### 成果

- ・署HPからシステムをダウンロードできるようにし、誰でも試すことを可能とした。

- ・説明会時、参加者より「見て確認できる」「今後、使用して進捗状況などの確認をしていきたい」などの意見があった。

### 今後の取組

- ・説明会を実施した地区において、アンケート調査を実施。

- ・活用実績（活用事業数、現時点における生産性）の把握。

- ・普及活動の推進。

## 工程分析シートの改良

### 事業体等の意見の反映

- ・説明会時、出席者より「分析表への機械別生産量割合の追加」の要望があり、工程別機械別功程表の各作業種毎に生産率を表示した。

### 成果

- ・工程別機械別功程表の各作業種毎に生産率を表示することにより、一目でわかりやすく改良した。

### 今後の取組

- ・各事業体等の意見を聞き、システムの活用事例の取りまとめを行いながら更なるシステムの改良に努める。

将来目標



森林所有者等の森林整備の意欲向上を促進させる

